

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	朝日村の森林資源を有効活用したクラフト家具の作成・体験及びPR事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 (99-4104)
事業区分	⑥ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,960,180 円 (うち支援金: 1,542,000 円)

事業内容

- ・村産材家具制作・PR
村産カラマツ材を使用した、日常家具等 17 点を制作し、令和元年6月にオープンしたゲストハウスで使用・展示を行った。また、銀座NAGANOを始め、県内外のイベントでPRを実施した。
- ・木工クラフトワークショップ
観光協会と連携した木工クラフトワークショップを4回開催した。
- ・家具カタログの作成
同意が得られた村内木工クラフト作家の制作した家具の、商品カタログを作成し、ゲストハウス、近隣市村等へ配布した。



【木工家具を堪能できる
ゲストハウスのリビング】

【目標・ねらい】

- ①村産カラマツの「ブランド化」
- ②村総合戦略の柱である人口増対策の移住定住施策
- ③村産材・木工製品の商品化の検討

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・公共施設やゲストハウスに備える体験用家具や、イベント等に有効活用しPRすることで木工製品の魅力を感じ購買意欲を高め需要増加が見込まれた。
- ・ゲストハウス等を活用した木工体験プログラムを展開し、長期滞在観光客に対し、朝日村の魅力を伝えることで移住定住の促進が図られた。
- ・今まで制作した家具の商品カタログを作成し、村内外の公共施設、飲食店、宿泊施設などに設置。無料配布することで朝日村のPR、村内で活動する木工作家の紹介が行えた。

※自己評価【 B 】

【理由】計画どおり全ての事業を実施し予定どおりの効果を得た。
ゲストハウスでの木工家具を実際に使用してもらい、商品カタログにより販売促進が期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

29 年度から3カ年で制作した家具を、ゲストハウスで実際に触れて見て使用してもらうことにより、木工家具の良さを体感できる体制及び商品カタログの作成により、木工家具販売の体制が構築できた。この事業での取り組みを広くPRしていくことで、村産材木工製品の需要拡大を図っていく。

一方、村産材の入手方法等の課題もあることから、村内木工作家と行政等がこれまで以上の連携を図り、森林資源の有効活用を図っていく必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある